

ながとじん 長門人



鯨唄を調べる

— 連絡帳 —

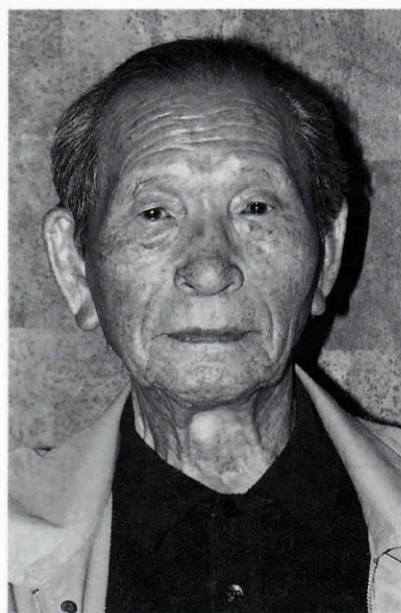
松岡 恵未 さん

まつおか えみ / 平成3年生
仙崎小学校6年 / 田屋区

わたし達、仙崎小学校の6年生は、今、総合的な学習で鯨唄について調べる学習をしています。1組は、クラス全員で図書館に行き、鯨唄に関係していることを調べました。合同の学習の時には、仙崎の鯨唄に詳しい方や、通の鯨唄に詳しい方に学校へ来て頂き、お話を聞いたりと、いろいろなことをして調べています。



交流があるような気がしてきました。そんなことを思うと、もっともつと鯨唄について知りたくなってきました。総合の時間に、まだまだ鯨唄を深く追求していきたいと思います。



郷土の歴史を後世に

— 達者です —

坂倉 幸博 さん

さかくら ゆきひろ / 86歳 / 湯町区

「元気の素と思って飲んでよる」と、昼と晩に一杯ずつ飲むお酒が楽しみと坂倉さん。このお酒とともに毎日入る温泉が健康の秘訣と話されます。

戦後、旅館業を営み、長く依山温泉の発展に係わってきた坂倉さんも今では坂倉旅館のご隠居様。郷土に対する思い入れは特に強く、「依山の正しい記録を後世に伝えていきたい」と「ふるさと探訪の会」に入会。現在は自室で昔の文献の研究や、遺跡物の探索・調査の毎日だとか。

今年の依山公民館まつりでは、日頃の研究成果として「依山の野佛」について発表され、これ以外にも研究・調査した史料は数多く、ご自身で冊子にされて

いるものもあるとか。

「古人や先輩の残した手形、足跡を訪ね、その正しい姿を後輩に伝えたい。後世の人たちに先人たちの知恵と努力を受け継いで欲しい」と話してくださいました。



研究・調査された史料